

感染症週報

小笠原での流行状況

第10週（3月3日から3月9日まで）



父島 感染性胃腸炎の報告がありました。

母島 COVID-19の報告がありました。

※ 5例以上発生時に実数報告としています。

東京都全体での流行状況

第9週（2月24日～3月2日）

【警報・注意報】

なし

【ピックアップ】

・感染性胃腸炎

（定点患者報告数 13.03）

感染性胃腸炎（都 定点報告数）



・伝染性紅斑（リンゴ病）

（定点患者報告数 0.84）

まだまだ高い水準です。

・感染性胃腸炎（ロタウイルス）

過去10年の感染性胃腸炎（ロタウイルス）報告数



A群溶血性レンサ球菌 咽頭炎

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は、A群溶血性レンサ球菌という細菌による上気道の感染症です。

A群溶血性レンサ球菌は、細菌菌の侵入部位や組織によって急性咽頭炎の他、膿痂疹、蜂巣織炎、菌の産生する毒素による猩紅熱など多彩な臨床症状を引き起こします。

咽頭炎の典型的な経過は、2～5日の潜伏期間の後、突然38℃以上の発熱、咽頭発赤、莓状の舌などの症状が現れ、しばしばおう吐を伴います。熱は3～5日以内に下がり、1週間以内に症状は改善します。治療には抗菌薬を使用しますが、腎炎などの合併症を防ぐため、症状が改善しても主治医に指示された期間、薬を飲むことが大切です。

感染経路は患者の咳やくしゃみなどのしぶきに含まれる細菌を吸い込む「飛沫感染」と細菌が付着した手で口や鼻に触れる「接触感染」です。



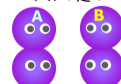
予防には **手洗い**
咳エチケットが有効です！

A群レンサ球菌は怖い菌でもあります

同じA群レンサ球菌によって起こる病気「劇症型溶血性レンサ球菌感染症」は、急速に多臓器不全に進行する危険な病気です。致死率が約30%と高く、メディアで「人食いバクテリア」と取り上げられることもあります。



見た目は似てるけど
中身は違う



3月
は自殺対策強化月間です

ここナビ



生きていくのが
つらいと感じた
ときの相談先

感染症メモ

出典、参考：東京都感染症情報センター 国立感染症研究所 亀田総合病院感染症内科

A群溶血性レンサ球菌の学名は *Streptococcus pyogenes* で「膿を産生するレンサ状の球菌」という意味を持ちます。和名の「A群」はレンサ球菌の細胞壁にある多糖体を分類した時のグループを示し、「溶血性」は溶血毒素により動物の赤血球を溶かす特徴を表しています。レンサ球菌の多糖体分類にはA～V群（I、Jは除く）があり、A群の他に人への病原性を持つ菌としては、B群レンサ球菌やG群レンサ球菌などが知られています。B群レンサ球菌は産道に常在菌として存在していることがあり、出産時赤ちゃんに感染して髄膜炎などを引き起こすことがあります。この感染を予防するため、妊婦検診では妊娠後期に保菌検査を行います。

習慣にしよう！

感染予防の基本は手洗い

東京都島しょ保健所小笠原出張所

